

宇都宮商店街めぐり 第18回

NPO法人
宇都宮中心商店街活性化委員会

「商店街の力を合わせて、 宇都宮を盛り上げていきたい」

宇都宮市中心部の商店街が協力し合って、地域活性化を行おう！
という意気込みが、新しい〈宮の顔〉を創りつつあります。
今回はNPO法人宇都宮中心商店街活性化委員会をご紹介します。

平成22年10月に特定非営利法人（NPO法人）となった、宇都宮中心商店街活性化委員会（以下「活性化委員会」）。平成20年度から宇都宮市パンバ市民広場の指定管理者となったことが、直接のきっかけでした。
活性化委員会設立は平成13年に遡ります。斎藤公則会長は、次のように当時を振り返りました。

「平成13年の西武宇都宮百貨店30周

年記念事業のためにプロジェクトチームを立ち上げたことから、関連した8商店街が『今後のために、組織として残したい』と話し合ったのです」
プロジェクトは翌14年に現在の活性化委員会に改組、広く力をあわせて地域の活性化を図る活動を開始しました。現在の会員はパンバ通り商店街、オリオン通り曲師町商業協同組合、日野町商店街振興組合、馬場

通り商店街、二荒通り商店街、互運会、馬場南通り会、鉄砲町商店会、みはし通り商店会の9商店街と、宇都宮屋台横丁です。

活性化委員会の活動は「パンバ桜まつり」「よー元気まつり（年2回）」「宇都宮愉快市」「パンバ夏祭り」などのイベントの企画運営や、地域一斉清掃や盲導犬募金、公衆無線LAN設置・提供といった社会貢献、情報誌の発行、それにパンバ市民広場の管理運営と、多岐にわたります。

「最近、地方都市はどれも元気がありません。今回の震災で、さらに状況は厳しくなるでしょう。幸い、宇都宮市はまだ元気が残っています。こういう時だからこそ、その元気を最大限に生かし、より楽しくおもしろい街にしていきたいですね」と意気込みを話す、斎藤会長。

連携しているからこそできる、さまざまな行事企画や地域貢献で、これからも〈宮〉を盛り上げてください！

【写真/上】毎年5・11月に開催される「うつのみやぐるり市」
【写真/下】大人のためのディスカバーティ「バンバdeナイト」

NPO法人 宇都宮中心商店街活性化委員会
●会員数 10団体



NPO法人
宇都宮中心商店街活性化委員会 会長
斎藤 公則 さん

